

ドローンによる湿原撮影

オルソ画像と DEM（標高）データ作成のため、ドローン撮影をおこなった。

オルソ画像からは、画像から把握できる範囲で湿原内流路図を作成した。流路が途中で寸断されて伏流していると思われる箇所や、平成 27 年度に作成の流路図では湧水の下流方向に水路が形成されていた箇所が、現在は湧水及び水路が消滅していることなどが読み取れた。ただ、両湿原供に、下流方向の流路周辺は低木層に覆われており、流路は不明であった。

DEM データ（3cm メッシュ）からは、等高線、段彩陰影図^{※1}を作成した。下層植生のない湿原内に限っては、ある程度の凹凸が把握できた。

以下には、オルソ画像（陰影図をオルソ画像の下に表示）、段彩陰影図、流路図（下川委員のコメント入り）を示す。

※1 段彩陰影図：段彩図（高度によって高さを変えた地形図）と陰影図（地形に光を当てた時の影を描いた図）の 2 種を混ぜた図

撮影日：令和元年 7 月 31 日（水）、晴れ

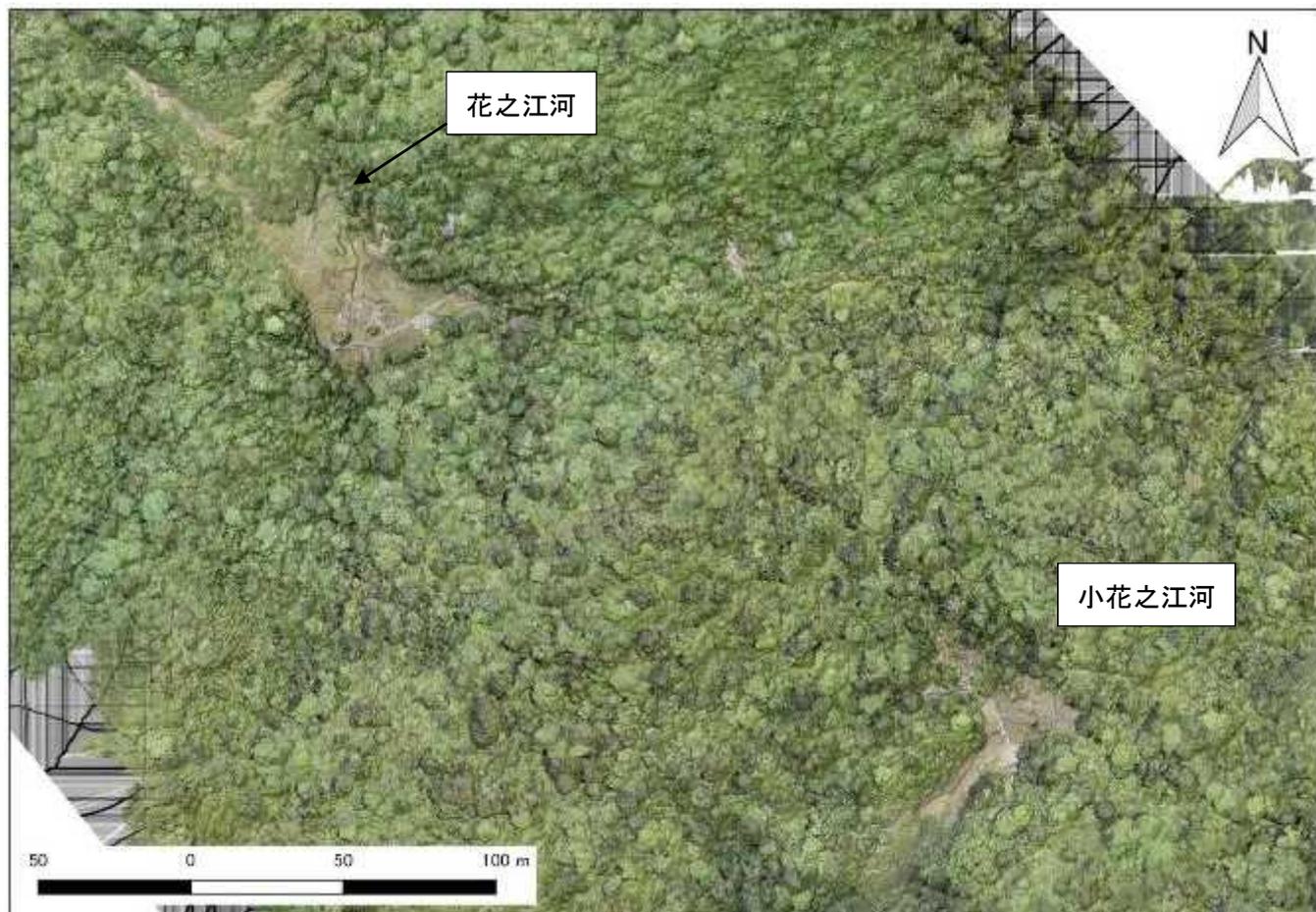


図 1-1 オルソ画像（陰影図をオルソ画像の下に表示）

1 花之江河の湿原内図



図 1-1 オルソ画像+等高線(1m)



図 1-2 オルソ画像+等高線(50cm)



図 1-3 オルソ画像+等高線(20cm)

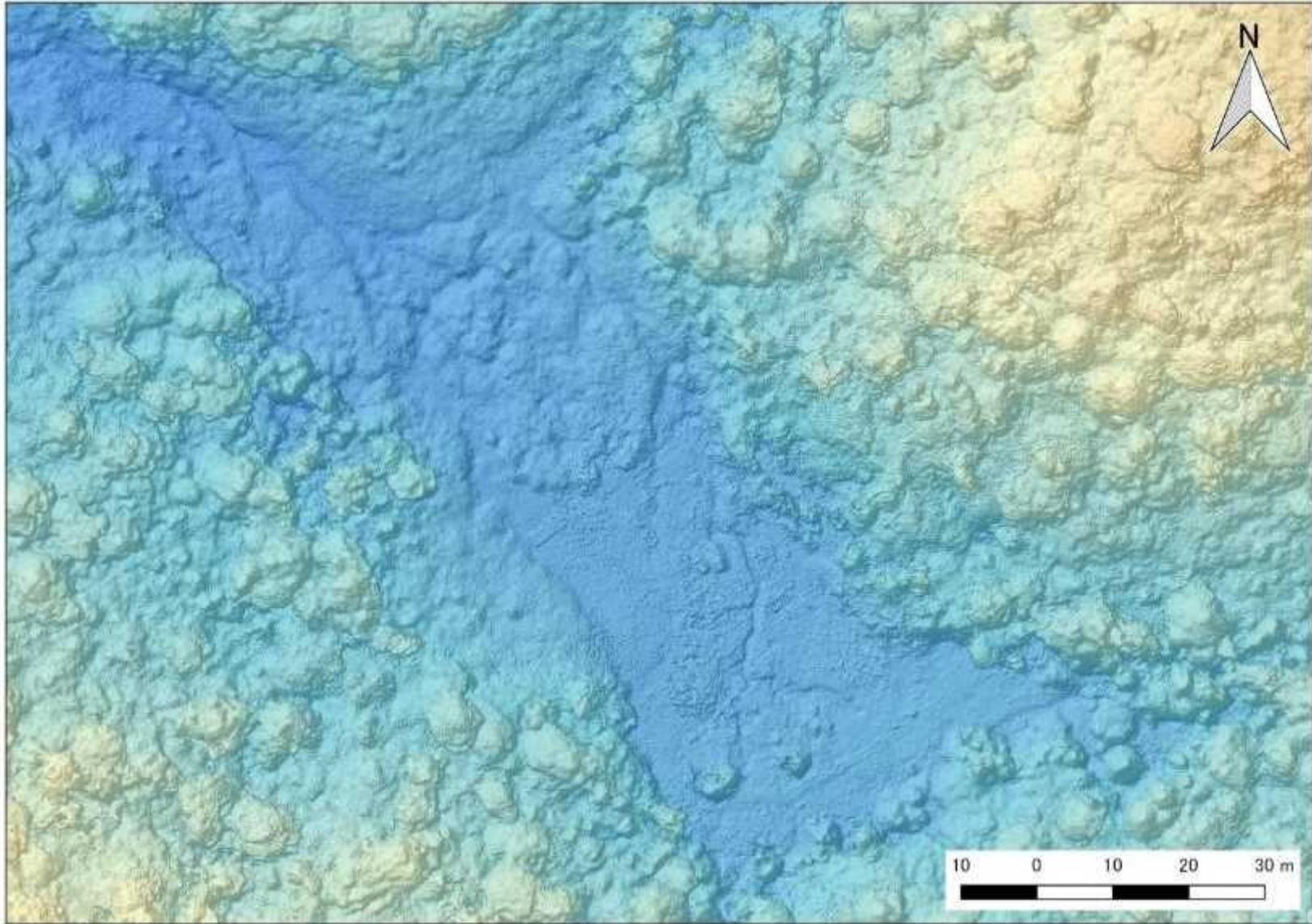


图 1-4 段彩阴影图

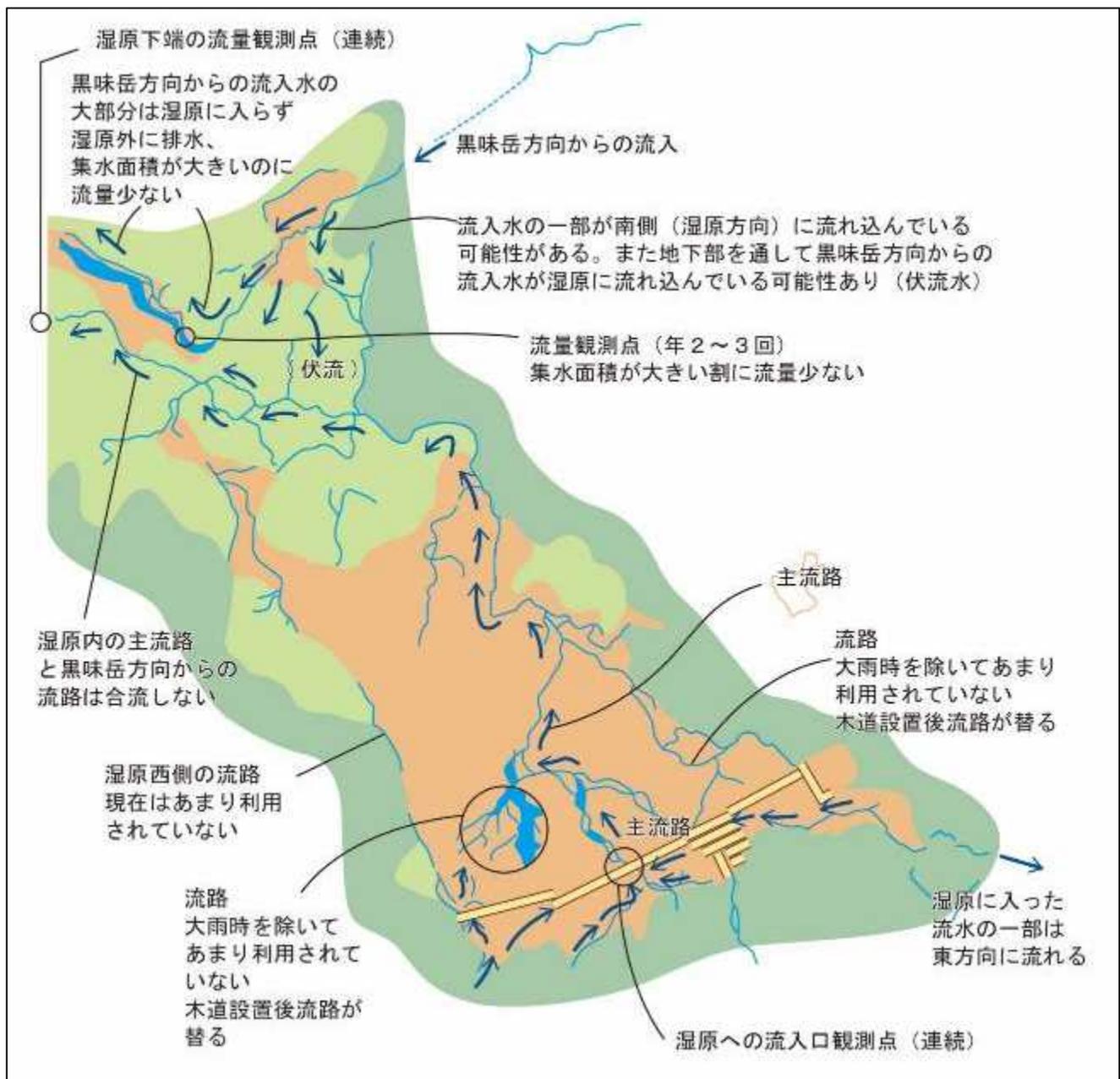


図 1-5 花之江河の流路図

2 小花之江河の湿原内図



図 2-1 オルソ画像+等高線(1m)



図 2-2 オルソ画像+等高線(50cm)



図 2-3 オルソ画像+等高線(20cm)

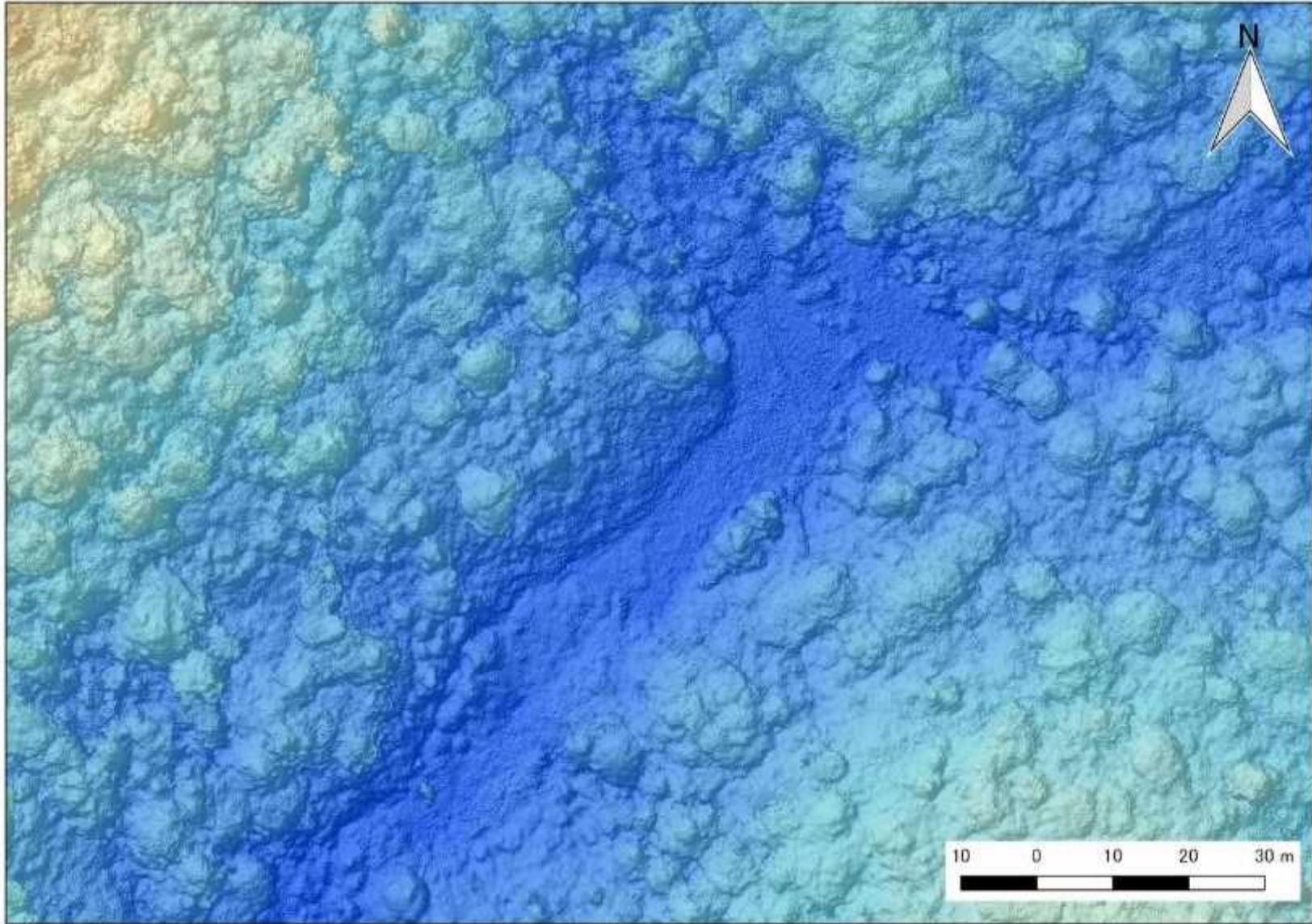


图 2-4 段彩阴影图

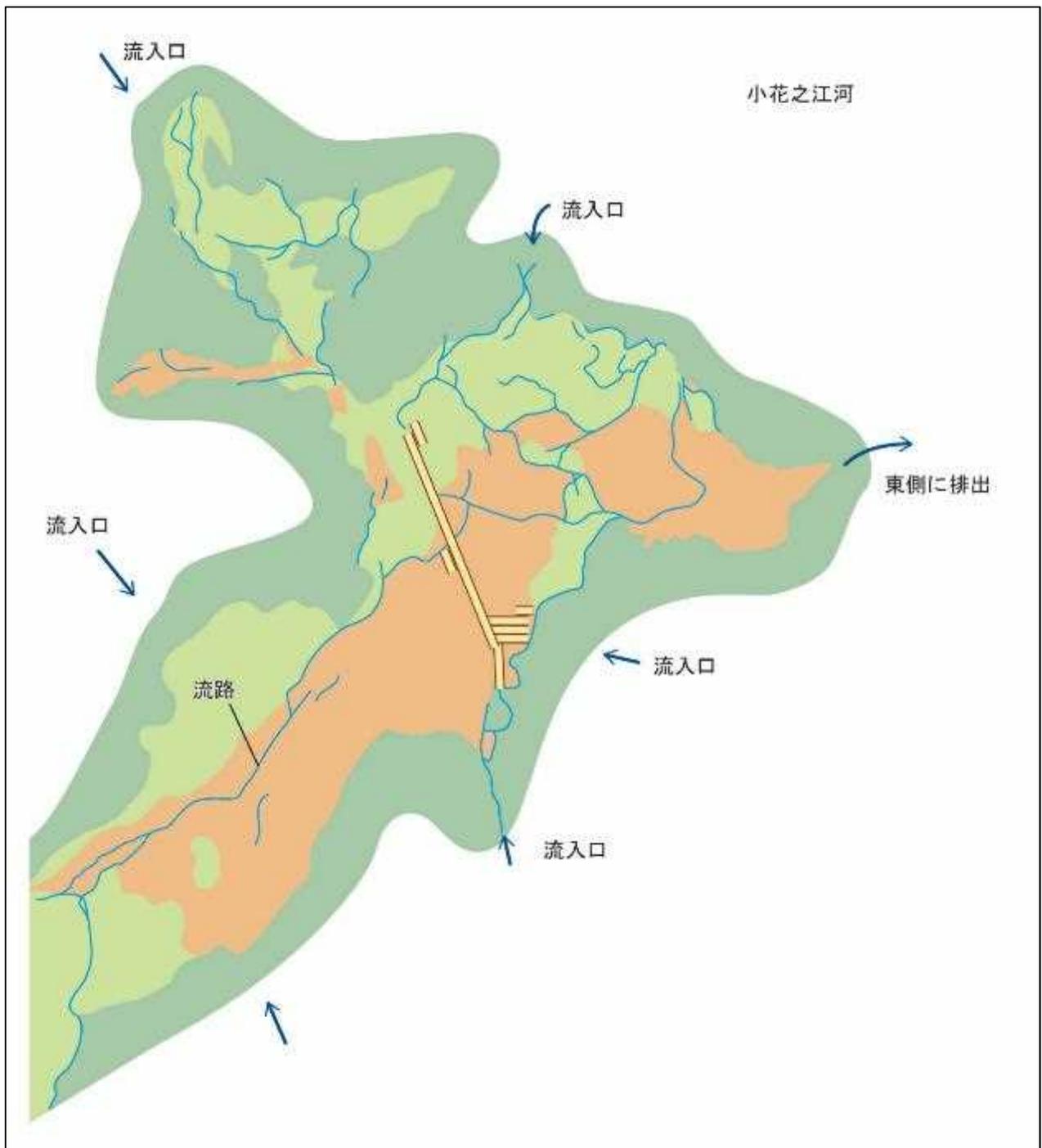


図 2-4 小花之江河の流路図

3 簡易なドローン撮影による今後の調査（案）

簡易な撮影ながらも、下層植生のない湿原内に限っては、ある程度の凹凸が把握できたことから、次年度以降も、本年度を同じ画角での撮影を行い、短期的な湿原地表面の推移を把握していきたい。

また、水域環境（流路・湛水域）、土砂堆積量の分布面積、植生群落の分布状況も、ドローンのオルソ画像よりある程度把握してから、詳細は現地で確認するといった手法も検討したい。